

2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年1月14日

上場会社名 株式会社きよくとう 上場取引所 東
 コード番号 2300 URL http://www.cl-kyokuto.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧平 直
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 弓削 道哉 (TEL) 092-503-0050
 四半期報告書提出予定日 2021年1月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の業績 (2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	4,027	△24.2	△280	—	△125	—	△338	—
2020年2月期第3四半期	5,312	△1.4	265	△36.4	339	△32.9	204	△33.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年2月期第3四半期	△64.31		—					
2020年2月期第3四半期	38.88		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	4,572	3,151	68.9
2020年2月期	4,913	3,583	72.9

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 3,151百万円 2020年2月期 3,583百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	5.50	—	5.50	11.00
2021年2月期	—	3.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の業績予想 (2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,920	△5.4	△667	—	△450	—	△670	—	△127.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

3年2月期3Q	5,551,230株	2年2月期	5,551,230株
3年2月期3Q	289,999株	2年2月期	289,999株
3年2月期3Q	5,261,231株	2年2月期3Q	5,261,241株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な大流行の影響により、2020年4月7日付で政府による緊急事態宣言が発出され、経済活動に大きな制約を受け、個人消費を中心に景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後は、経済活動が段階的に再開し、政府主導のG o T oキャンペーン等の対策もあり景気に回復の兆しが見られたものの、感染症の再拡大から先行きは極めて不透明な状況となりました。

当社におきましても、工場休業日の追加と全店舗の営業時間短縮や一部店舗の休業及び販促活動の自粛等の対策を行い、お客様並びに従業員の安全と健康を最優先に感染防止策を講じて営業を継続いたしました。

このような経営環境の中、当社は、春の衣更えの最需要期に新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、その後のコロナ禍における在宅勤務の定着も含めて、来店客数の減少とスーツやワイシャツ等のビジネスウェアを中心としたクリーニングの入荷が大幅に減少し、売上高が大幅な減収となりました。

営業面においては、「スニーカークリーニング」専用の水洗機・乾燥機を増設し、店舗では、スニーカー専用棚を順次設置する等、お客様に低価格できれいに仕上ることをPRし、販売強化に努めております。加えて、11月からは、宅配クリーニング「PORTERS(ポーターズ)」を広島市内エリアでスタートしました。

一方で、事業の効率化のため6工場の閉鎖統合と不採算店の閉鎖を行いました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高は4,027,020千円と前年同四半期と比べ1,284,984千円(24.2%)の減収となりました。

利益につきましては、売上高の減少に伴い営業損失は280,934千円と前年同四半期と比べ546,427千円(前年同四半期は営業利益265,492千円)の減益、営業外収益に新型コロナウイルス感染症対策として実施した休業や営業時間短縮に伴う雇用調整助成金73,337千円を計上したものの、経常損失は125,480千円と前年同四半期と比べ464,656千円(前年同四半期は経常利益339,176千円)の減益、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額189,758千円を計上したことにより、四半期純損失は338,382千円と前年同四半期と比べ542,959千円(前年同四半期は四半期純利益204,577千円)の減益となりました。

なお、当社の属するホームクリーニング業界は、通常の場合、春の衣替えの時期に重衣料が洗濯物として出されるため春場に最需要期を迎えます。したがって、当社の売上高は、第1四半期に偏る傾向があり、四半期の業績に季節の変動があります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前事業年度末に比べて50,800千円減少し、1,026,099千円となりました。これは、売掛金が23,121千円増加したものの、現金及び預金が77,021千円減少したことなどによります。

固定資産は、前事業年度末に比べて289,728千円減少し、3,546,728千円となりました。これは、繰延税金資産の取り崩しにより投資その他の資産が262,902千円、無形固定資産が19,384千円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前事業年度末に比べて340,528千円減少し、4,572,827千円となりました。

(負債)

流動負債は、前事業年度末に比べて44,244千円減少し、700,639千円となりました。これは、1年内返済予定の長期借入金44,012千円が増加したものの、未払金が46,516千円減少したことなどによります。

固定負債は、前事業年度末に比べて135,630千円増加し、720,754千円となりました。これは、長期借入金が増加したことなどによります。

この結果、負債合計は、前事業年度末に比べて91,385千円増加し、1,421,393千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べて431,914千円減少し、3,151,433千円となりました。これは、利益剰余金が383,102千円、その他有価証券評価差額金48,812千円減少したことによります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、春の衣更えの最需要期に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を大きく受け、その後のコロナ禍における在宅勤務の定着も含めて、来店客数の減少とスーツやワイシャツ等のビジネスウェアを中心としたクリーニングの入荷が大幅に減少したことにより、売上高が大幅な減収となりました。

また、当第3四半期会計期間において感染症の再拡大から2021年2月期末以降も影響が継続するものと判断し、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額189,758千円を計上することといたしました。

以上の結果、2021年2月期の業績予想につきましては、2020年10月13日に開示した2021年2月期通期(2020年3月1日～2021年2月28日)の業績予想を下回る見込みとなりましたので、通期の業績予想を修正させていただきました。

詳細につきましては、本日発表の「繰延税金資産の取り崩し及び2021年2月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	761,025	684,003
売掛金	106,457	129,578
商品	23,632	23,069
原材料及び貯蔵品	29,506	25,061
前払費用	76,677	75,387
その他	79,599	88,996
流動資産合計	1,076,899	1,026,099
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	284,540	274,160
土地	1,801,726	1,795,700
その他(純額)	62,376	71,341
有形固定資産合計	2,148,643	2,141,202
無形固定資産		
のれん	50,548	45,214
顧客関連資産	99,750	94,469
その他	44,067	35,298
無形固定資産合計	194,367	174,982
投資その他の資産		
投資有価証券	542,630	525,849
差入保証金	510,986	481,025
その他	448,231	232,041
貸倒引当金	△8,403	△8,373
投資その他の資産合計	1,493,446	1,230,543
固定資産合計	3,836,456	3,546,728
資産合計	4,913,356	4,572,827
負債の部		
流動負債		
買掛金	31,712	32,273
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	104,004	148,016
未払金	373,113	326,597
未払法人税等	10,500	9,697
賞与引当金	23,909	19,697
資産除去債務	5,859	1,402
その他	95,784	62,956
流動負債合計	744,883	700,639
固定負債		
長期借入金	160,318	304,129
退職給付引当金	138,452	141,737
役員退職慰労引当金	123,456	127,637
資産除去債務	100,556	89,870
その他	62,341	57,379
固定負債合計	585,124	720,754
負債合計	1,330,008	1,421,393

(単位:千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第3四半期会計期間 (2020年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	555,092	555,092
資本剰余金	395,973	395,973
利益剰余金	2,869,344	2,486,242
自己株式	△166,918	△166,918
株主資本合計	3,653,492	3,270,390
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△70,144	△118,956
評価・換算差額等合計	△70,144	△118,956
純資産合計	3,583,348	3,151,433
負債純資産合計	4,913,356	4,572,827

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	5,312,004	4,027,020
売上原価	1,499,465	1,230,108
売上総利益	3,812,538	2,796,912
販売費及び一般管理費	3,547,045	3,077,847
営業利益又は営業損失(△)	265,492	△280,934
営業外収益		
受取利息	7	5
受取配当金	11,264	5,466
受取家賃	38,494	39,259
雇用調整助成金	—	73,337
その他	34,746	41,122
営業外収益合計	84,512	159,191
営業外費用		
支払利息	985	1,423
和解金	—	1,000
賃貸借契約解約損	9,790	815
その他	52	499
営業外費用合計	10,828	3,737
経常利益又は経常損失(△)	339,176	△125,480
特別利益		
固定資産売却益	345	838
特別利益合計	345	838
特別損失		
固定資産売却損	1,111	—
固定資産除却損	3,743	4,872
減損損失	—	3,407
特別損失合計	4,854	8,280
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	334,666	△132,922
法人税等	130,089	205,459
四半期純利益又は四半期純損失(△)	204,577	△338,382

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(セグメント情報等)

当社は、ホームクリーニング事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当社は、春の衣更えの最需要期に新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響を大きく受け、その後のコロナ禍における在宅勤務の定着も含めて、来店客数の減少とスーツやワイシャツ等のビジネスウェアを中心としたクリーニングの入荷が大幅に減少したことにより、売上高が大幅な減収となりました。

このような状況から、新型コロナウイルス感染症が収束に向かうことを前提に、売上高は2021年2月期末にかけて徐々に回復に向かうものと仮定しておりましたが、当第3四半期会計期間において感染症の再拡大から2021年2月期末以降も影響が継続し、売上高は2022年2月期末にかけて徐々に回復に向かうものと仮定を変更し、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性等に関する会計上の見積りを行っております。

なお、将来における業績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。